

救急医療専門部会議事要旨

開催状況

第 1 回

- ・日 時 令和 5 年（2023 年） 1 1 月 2 8 日（火）
- ・場 所 今金地域保健支所会議室及びWeb（Zoom）のハイブリッド
- ・出席者 川岸部会長ほか 5 名、救急告示病院等事務長 5 名

第 2 回

- ・日 時 令和 6 年（2024 年） 1 月 1 6 日（火）
- ・場 所 八雲地域保健室及びWeb（Zoom）のハイブリッド
- ・出席者 川岸部会長ほか 6 名、救急告示病院等事務長 5 名

第 3 回

- ・日 時 令和 6 年（2024 年） 2 月 2 6 日（月）（発送日）
- ・場 所 書面
- ・出席者 川岸部会長ほか 6 名

議事内容

第 1 回

1 北渡島檜山圏域における救急搬送等の状況について

【報告要旨】

- ・当圏域における救急搬送等の状況（令和 4 年（2022 年）実績）について資料説明。

【主な意見等】

- ・特になし

2 道南ドクターヘリ運航実績について

【報告要旨】

- ・当圏域におけるドクターヘリ運航実績（令和 4 年度（2022 年度）実績）について資料説明。

【主な意見等】

- ・特になし

3 脳卒中が疑われる患者を函館市等の脳神経外科病院に直接搬送する案件への対応について

【報告要旨】

- ・夜間等ドクターヘリが運航できない状況の時、脳卒中等が疑われる患者を地域の医療機関によらず、函館市等の脳神経外科病院へ直接搬送することにより、早期治療開始につなげることができる。まずは、テストケースとして、「意識清明」「軽度障害」「現役世代（70 歳以下）」で実施することについて意見交換を行った。

【主な意見等】

- ・後日、各機関の意見として、文書による照会を行うので、回答願いたい。

4 その他

【出席者意見】

- ・事故等により大人数の患者を救急搬送する必要がある場合、搬送先を分散することを検討するための調査を行いたい。

【主な意見等】

- ・後日、各救急告示医療機関等に対して、文書による照会を行うので、回答願いたい。

第2回

1 脳卒中が疑われる患者を函館市等の脳神経外科病院に直接搬送する案件への対応について

【報告要旨】

- ・各機関の意見を集約して報告し、意見交換を行った。
- ・救急搬送はメディカルコントロールに基づく病院前救護体制なので、「道南圏メディカルコントロール協議会」で協議される案件である。
- ・傷病者の搬送を適切に行うことは、救急業務の本質であることから前向きな検討は必要。
- ・地元医療機関で受けても時間ロスになるだけなので、賛成。
- ・原則として、各町の救急告示病院が初期対応した方が良いと考える（判定困難例が多い）
- ・消防の体制について、「欠員が多い」、「出動時間が長時間となり、救急車1台と隊員3名が不在となり、他の業務や消防力に支障をきたす」、「職員の人員増も考慮」、「定員増に対する『予算の確保』が必要」。

【主な意見等】

- ・北渡島檜山保健医療福祉圏域連携推進会議に対して「道南圏メディカルコントロール協議会」及び「檜山広域行政組合」に提言するよう意見する。
なお、内容は第3回会議で検討する。

2 救急搬送時の受け入れ状況について

【報告要旨】

- ・救急搬送時の受け入れ状況について資料説明

【主な意見等】

- ・事故等により大人数の患者を救急搬送する必要がある場合、町の境目で事故が起きた時は、今回の調査をもとに現場活動を進めていきたい。

第3回

1 脳卒中が疑われる患者を函館市等の脳神経外科病院へ直接搬送する体制確保等に関する提言（案）について

【報告要旨】

- ・道南圏メディカルコントロール協議会及び檜山広域行政組合あて提言（案）を説明

【主な意見等】

- ・異議無し
- ・前向きに検討する必要があるが実施に向けた課題に対し、現時点では解決策や方向性が示されていないので時期尚早と考える。
- ・人員・体制等が整備される必要がある。
- ・函館市等の救急医療機関・医師会等を含めて体制確保して頂き、救急隊員の人員確保が実現された場合、実施可能。

2 北渡島檜山地域推進方針進捗状況について

〈救急医療専門部会関係分〉

- ・救急医療体制
- ・災害医療体制
- ・へき地医療体制
- ・小児医療体制（小児救急医療を含む）

【報告要旨】

- ・「北渡島檜山地域推進方針」の進捗状況について、令和5年12月末現在の取組状況、数値目標に対する評価及び目標達成度について資料説明

【主な意見等】

- ・特になし